

どこへ向かう日本 — 世情を切るシリーズ2

麻生財務相の「ナチスに手口を学べ」発言では、 国会で問題になることなく、大臣の辞任もなし！

1930年代のドイツは、世界恐慌に直撃され、街には失業者あふれ、ドイツ国民は貧困にあえいでいました。ヒトラーは鬱積（うっせき）を強めるドイツ国民に対して、力強い恐慌脱出策を掲げ、同時にユダヤ人を憎悪の対象にすることでドイツ国民のナショナリズムを呼び起こし、熱狂的支持を集めました。

安倍首相のやり方もヒトラーと同じではないのか！

アベノミクスを掲げ、中国人と韓国人を敵視することで支持率をアップさせている安倍首相と全く同じだと言えます。

しかもヒトラーは、「嘘も大声で時間を費やして語れば、人はそれを信じるようになる」「大衆がものを考えないということは、支配者にとって実に幸運なことだ」とも言っているのです。こうしてヒトラーは首相就任からわずか半年で一党独裁体制を確立させたのです。くしくも、今の安倍政権も半年で一党独裁を実現してしまいました。権力を掌握したヒトラーは、まず国民の集会や結社の自由を停止したが、不気味なのは安倍政権もひそかに同じことをやろうとしているのです。国民の知る権利を抑圧する「秘密保全法案」が秋の臨時国会に出てくる見通しです。こんな法律ができてしまうと国民の知る権利や、報道機関による取材の自由が制約されてしまうのです。

「ナチスの手口を参考に」するような政治を私達は、断じて許してはなりません。反戦・平和の運動を強化し、暴走する安倍政権をストップさせよう！

自民の安定多数が「戦争のできる国家」へと 暴走を開始か！